

# 大会の挨拶

慶応義塾大学バドミントン部長  
商 学 部 教 授 白 石 孝

慶早期戦も回を重ねること10度、ここに10周年を迎えることになりました。輝かしい10年の歴史を築き、今日の盛大な定期戦を開くに至らした両校諸君に感謝の意を表する次第であります。

両校のOBと学生諸君が相集い、独特の和やかな雰囲気の中で楽しくお互いの技を競うという慶早期戦においてはバドミントンの真髄を発揮し、両校相互に親しみと尊敬を持つて交流し合う絶好の機会を持つ事が出来ます。今回十周年を迎えるにあたって慶早期戦の意義を更に高め10年間の総まとめを行うと共に新たな発展への基礎を固めようではありませんか。

なお早稲田大学の最近の充実ぶりには目をみはるものがあるとの事です。好試合が見られるものと期待しています。

終りに両校OBならびに学生諸君の奮闘を御祈り致します。

早稲田大学バドミントン部長  
理 工 学 部 教 授 岩 片 秀 雄

慶応のバドミントン部は今秋創設20周年のお祝いをするというから日本の大学チームとしては最も古いばかりか、我が国の技術をこれまで育成するために大きな貢献があつたと考え、敬意を表したいのである。今回のアジア大会で我が国のバドミントンが惜敗したとはいえ他の諸国の実状から考えて止むを得ないと思うのである。オリンピック競技で比較的強い水泳や体操や卓球を見て常に感ずることは、体質の適否と普及の如何にかかつていようである。

早期戦もこの二、三年来、早稲田の技量が慶応に伯仲してきたせいが大分見込えがするようになった。これからはお互いの技量の向上を計ると共に、早慶野球部の先輩たちが今日の野球の基礎を築き上げたように、もつと我が国バドミントン人工を増やして、その地位を向上させるよう御努力願いたいのである。(37. 8. 27 記)

## 慶応義塾大学メンバー

部	部長	白石	孝雄	慶応義塾大学教授
副	部長	奥野	泰雄	慶応義塾高校教諭
監	督	岡田	明道	昭和30年法学部卒
主	将	宮永	武司	商学部4年 麻布高校出身
副	将	関野	洋和	経済学部4年 慶応高校出身
選	手	石行	形和	文学部4年 新潟高校出身
サ ブ メ ン バ ー	サ ブ メ ン バ ー	久石	米融	文学部4年 聖学院高校出身
選	手	鯛中	安輝	経済学部4年 桐明高校出身
"	"	渡仲	边久	法学部4年 灘高校出身
"	"	西庭	村裕	法学部4年 慶応高校出身
"	"	浜野	村和	経済学部4年 灘高校出身
"	"	北田	直辰	法学部4年 慶応高校出身
"	"	森広	建直	商学部4年 慶応高校出身
"	"	新井	宏彦	法学部4年 桐生高校出身
"	"	根本	紀木	法学部4年 玉薮高校出身
"	"	鈴木	中明	法学部3年 小舞台高校出身
"	"	田中	進之	法学部3年 慶応高校出身
"	"	井上	洋助	経済学部3年 新宿高校出身
"	"	長谷	川敏	商学部2年 関東学院高校出身
"	"	木目	嘉敏	法学部2年 高松高校出身
"	"	香季	西家	商学部2年 高松高校出身
"	"	大嶋	弘研	法学部2年 慶応高校出身
"	"	山中	本洋	法学部1年 緑ヶ丘高校出身
女 子	選 手	中西	浩奈	文学部3年 慶応女子高校出身
"	"	水野	美奈	文学部1年 慶応女子高校出身
"	"	新井	正子	経済学部1年 慶応女子高校出身



## 慶早戦に寄せて

慶応大学文学部昭和31年卒業 吉原秀雄

私はWK戦が近づくとき現役時代が生々しく思い出されて来る。まだ私が二年の頃(昭和29年)王子体育館で早大と合同練習した頃は早大は二部に慶大は一部優勝校、これでは勝敗は問題になろうはずがなかつたが、あれから9年にして早大は一部へしかも現在は一部の優勝戦線に大きく立ち回らぬだけの實力をそなえる様になった。今この9年間の早大の地道な努力に敬意を払わずにはいられない。

現在のごときは慶大の方が逆に早大に教えられる様な立場になりつつあることは慶大OBとしては一抔の寂しさを感じつつもいよいよ實力伯仲したW、K両校が今後のバドミントン界のリーダー的存在となつて初めてバドミントン競技の発展があるのは他のスポーツを考へても自明の理であるのだし、又そうあるべき為にも今後いよいよ互に良い意味での競争の上で両校共益々實力をあげ、やがては両校による優勝戦が行なわれる日が近からん様にと願ひより一層意義あるW・K戦として発展して行く様に願うものです。

慶応義塾大学文学部 昭和37年卒業 山田善康

暑い夏も終りに近づいてくると名譽ある大会慶早バドミントン對抗を思い出します。卒業をしてしまふと仲々ハネを追いかける事が出来ないのが特に出るのを待っていました。

さて今回は10回目、10年を一番とすれば、今年は何とくぎりの最後の年であると同時にこれから慶早両校共大いに羽根をのぼす意味においても重大な大会になると思います。

早稲田さんは10年後を見ろとおっしゃいました。その通り今大会は今までに例を見ない程熱烈なデットヒートを見せる事でしょう。しかし残念な事には……皆様理解出来ると思います。

現役は日吉での猛練習トレーニングとこの大会の準備は完了していると思います。私、OBとして勝負の厳しさというものを久しぶりに見学させていただくと同時に、羽根を追いかける楽しさを味わいさせていたただきたいと思つています。会社へ出勤してから身体が痛い痛いと言つても仕方がありません。好きな道なのですから。又会場での諸先輩や現役と話が出来るとも楽しみです。

現役完勝・OB完勝・レゼンション完勝・ついでに二次会・三次会も完勝といきたいものです。では慶早両校現役の奮闘を期待しております。我々OBも老骨にムチ打つて、スワートになる様にと一生懸命やります。

さあ、戦いましょう！



## 早慶戦に思ふ

早稲田大学商学部昭和32年度卒業 河崎 一幸

10年一昔というが、たしかに世相の変わらうには目をみはるものがある。宇宙旅行も夢ではなくなつてきた。ところがこゝに延々と変らぬ一つの歴史がある。それは、早慶バドミントン定期戦のバドミントンを開くと「過去の戦績」という頁に綴られている。これをながめるとうんざりする。歴史は繰返すというのがこの繰返しはあまりにだけない。

かつて学生服に角帽をかぶりラケットを片手に他流試合にいった歴戦のさむらいが、オーダーメイドの背広とはりこみ、片手に愛のお荷物を抱え、もう一方にラケットをぶらさげて堂々入場。彼は歴史上の人物である。そして又新しい歴史を作り上げてくれる戦士でもある。

現後諸君よ、この雄々しき姿を尊びたまえ。そして君らもスポーツマンシップにのつとり、正々堂々と戦い、新しい歴史をうちたてんことを期待して止まない。年に一度、純重な身体に鞭打つてめちやくちやにかげずりまわり、大声をはりあげ校歌がうたえることが楽しみでならない。

早稲田大学商学部昭和36年度卒業 前田 伸生

第10回ノ 早慶両校のバドミントンを愛する者の熱意と努力とチームワークの経緯によりうちたてられた不測不滅の実績である。これを契機に過去を反省し、悪きを改め、良きを伸し、名実共にバドミントン界をリードする定期戦となることを望みます。

本定期戦は春季リーグ戦に明らかなように実力伯仲ではあるが、決して自慢すべき伯仲ではない。慶大の諸君、先輩の作った立派な実績をなせ守つていけないのだから。スポーツと記録は常に表裏一体である。記録を死守する位のフアイトを望みます。早大の諸君、なにをもたもたしているか。子供の誕生から10年の間の生長は目に見える程である。10年たつた早大もその生長振りを目に見せてもらいたい。

10年間手を取り足を取り教えてくれた親方に恩返しをすべき頃ではないか。  
両校選手、OB諸氏のフアイトある好プレーを期待します。

株式会社 バドミントン・トヨタ

東京都杉並区上荻窪1丁目248番地  
電話 荻窪(398) 3208番

## 主 将 の 抱 負

慶応義塾体育会バドミントン部

主 将 宮 永 武 司

いよいよ早慶戦も記念すべき10回目を迎える事になり、前回迄九連勝の勢にとつては是が非でも勝利を収め先輩諸兄の築かれた輝かしい伝統のあとを汚す事なく、又後輩の良き踏台となる様部員一同練習に励んでまいりました。

昨年の慶早戦と異なり、一部に於いてリーグ戦でそれも今春は特に2回も顔を合わせ、正に言葉通りの好敵手となつており、幸いにして5対4の僅差ながら塾の連勝に終つてはいるものの、その日の調子次第でどうなるか分からないくらい実力の接近を見る今日、ここに晴れて第10回の記念の慶早戦を挙行する事になりました事は塾としても真の実力を決する最良の機会と思つております。

我々は願わくば近い将来に於いて一部リーグ戦の優勝をかけ、さらにインカレの優勝をかけて両校が相まみえる日を、そして慶早両校黄金時代を実現すべく努力して行こうではありませんか。

早稲田大学バドミントン部

主 将 堺 榮 一

いよいよ早慶定期戦も今年で10回目を数える事になりました。過去9回の早慶戦は残念ながら慶大に屈し涙をのんだ。しかし最近の試合はその内容が非常に接近したものとなつている。

迎えて丁度10回になった今回、我々は初めて“勝利の美酒”を飲むべく、春季・夏季の合宿、普段の練習を通じて精進して来た。この練習で得た成果を全員のフアイトをもつて慶大に当たるつもりである。私も現役として最後の早慶定期戦に臨み、このチャンスに何とか一矢を報いたい気持ちです。

慶大にしても易々とは肥を脱ぐまい。この“ぶつかり合い”こそ早慶両校の発展向上に大いに意義あるものと確信します。

# 男子戦オーター

# 男子戦予想

重井 三雄

慶応義塾大学 } 複  
単 } 早稲田大学

## ダブルス

1	李 夫	家 島	{	{	安 長	松 山
2	香山	西 本	{	{	小 遠	木 藤
3	田 長	谷 中	{	{	合 世	井 告
4	行 木	形 目	{	{	七 清	沢 水
5	宮 鈴	永 木	{	{	吉 界	良

## シングルス

1	山 本	{	{	長 山
2	木 目	{	{	遠 藤
3	長 谷 川	{	{	吉 良
4	香 西	{	{	世 古
5	井 上	{	{	今 井
6	田 中	{	{	安 松
7	鈴 木	{	{	清 水
8	久 米	{	{	西 沢
9	行 形	{	{	七 沢
10	宮 永	{	{	界

この要はキヨウの戦況を述べ、早稲田の選手が活躍するであろうと予想している。今年度は慶大陣の番が主だった。一勝を飾る公算が大きい。最後に予想にとらわれることなく慶早両校選手の間を心から望んで筆をおきます。

ダブルスでは1年同志の山本、長山は新人戦に力をつけている。今年度は慶大陣の番が主だった。一勝を飾る公算が大きい。最後に予想にとらわれることなく慶早両校選手の間を心から望んで筆をおきます。

ダブルスの前半では景徳から興隆が活躍する。景徳は1年同志の山本、長山は新人戦に力をつけている。今年度は慶大陣の番が主だった。一勝を飾る公算が大きい。最後に予想にとらわれることなく慶早両校選手の間を心から望んで筆をおきます。

これより三役の登場。東日本で準々まで進出し気をよくしている鈴木が自信を以て清水にぶつかると清水としても4年生であり、貫録あるプレーをみせると思う。2対1の接戦となろうが、若さがかつて鈴木に軍配を上げよう。第9試合、行形・七沢の対戦はすでに東日本で顔を合わせており、行形が2対1で七沢を降しているが、今回は七沢が雪辱するのではないか。この2人の枯れたプレーに好試合を期待するわけである。最後に早慶両校の主将であり、奇しくも床布高の先輩、後輩という界・宮永の激突はみるものの興味をそそる一戦であり、本定期戦の圧巻である。すなわち界がオールラウンドなテクニクを披露すれば、一方宮永は変形フオームながら強烈なスワッシュを主体とした力のプレーを展開するだろう。東日本優勝の際に見せた精神的安定があらはれば界が有利だが、若し少しでも気分が乱れるとダブルスは3対2で早稲田に有利、またシングルスは5対5の同点となり、結局8対7、あるいはこれに近いスコアで早大が慶大を破り、早慶定期戦での初の1勝を飾る公算が大きい。最後に予想にとらわれることなく慶早両校選手の間を心から望んで筆をおきます。